

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 株式会社三恵コンサルティング

1. 事業名称

「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室開催事業

2. 事業の目的

本来、若年層から日本での教育や生活を経験しておれば、自然と身についたであろう日本特有の制度や仕組み、また、生活する上での便利なツールや方法を、生活に必要な日本語を通じて学び、生活能力の向上を目指す。

3. 事業内容の概要

統計データによると、教室開催候補地である名古屋市緑区と隣接する名古屋市南区には、8,210人の外国人が定住しており、年齢別の内訳は、15歳未満:997人、15-64歳:6,329人、65歳以上:884人となっている。このことから、男女を問わず、「現在、子育てをしている世代」「今後、子育てをする世代」が多いことが分かる。これらの世代の定住化が進む中、日本語が不自由であるだけでなく、日本で教育を受けていないために日本特有の制度や仕組み、また、生活する上での便利なツールや方法を知る機会も少なく、「日本での生活に不自由を感じている外国人」の生活能力向上は不可欠である。

そこで、『「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室』では、以下の点をその教育方針とし、地域の課題解決を目指す。

- 日本特有の制度や仕組み、生活する上での便利なツールや方法を、生活に必要な日本語を通じて学び、生活能力向上を目指す。
- 授業のない日にも独習ができるような宿題を課する。
- 各回の授業では、生活に必要な「課題」と、それを実践する「タスク」を用意することで、習熟度や学習意欲の向上に努める。
- 地域の日本人ボランティアの授業への参加を積極的に募り、外国人と日本人の結びつきを強める。
- 講師以外の地域の日本人ボランティアとの会話を通じ、様々な語彙や言い回しの表現に触れる機会を増やす。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年10月28日 10:00～12:00	2時間	SOHOプラザ会議室	金田智子、川崎直子、水谷大輔、沖久美子、三上憲一、金箱亜希、房前ミレーナ、青木スージー	テキストについて、日本語教室での運営上の問題点、生徒からの要望	テキストの時間配分、出席率の改善、レベルのばらつきへの対応
2	平成25年12月6日 13:00～15:00	2時間	SOHOプラザ会議室	金田智子、川崎直子、水谷大輔、沖久美子、三上憲一、金箱亜希、房前ミレーナ、青木スージー、倉岡ジュリアナはるえ	出席率の向上と再募集の検討、生徒からの要望	再募集をするかどうか、サブテキストの作成
3	平成25年12月18日 13:00～15:00	2時間	SOHOプラザ会議室	水谷大輔、三上憲一、金箱亜希、林登志子、房前ミレーナ、青木スージー、倉岡ジュリアナはるえ	授業の様子、教室見学	講師から授業の様子やテキストの有効性について報告
4	平成25年1月30日 10:00～12:00	2時間	SOHOプラザ会議室	水谷大輔、三上憲一、金箱亜希、房前ミレーナ、青木スージー、倉岡ジュリアナはるえ	自己評価シート、来年度以降の日本語教室について	継続を希望している受講生への対応
5	平成25年2月7日 10:00～12:00	2時間	SOHOプラザ会議室	水谷大輔、沖久美子、三上憲一、金箱亜希、房前ミレーナ、青木スージー、倉岡ジュリアナはるえ	日本語教室の総括、来年度以降の日本語教室について	継続を希望している受講生の受け入れ先の紹介、テキスト再レビュー

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室

(2) 目的・目標 生活に必要な日本語の学習によるコミュニケーション能力や表現力の向上だけでなく、授業全体を通じ、日本特有の制度や仕組み、また、生活する上での便利なツールや方法を学び、生活能力の向上を目指す。

(3) 対象者 ひらがな、カタカナが読める外国人

(4) 開催時間数(回数) 3時間 (全24回)

(5) 使用した教材・リソース

当社オリジナル教材と各回の内容に即した副教材(路線図、朗読CDなど)、前週の授業の理解度に応じた補足資料

(6) 受講者の総数 7人
(出身・国籍別内訳 ペルー 3人、スペイン 1人、ブラジル 3人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年8月31日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	5人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(1人)	自己紹介	・自己紹介 ・新しい表現と言葉の意味 ・丁寧な言い方 ・家族の紹介	三上憲一	水谷大輔、金箱亜希
2	平成25年9月7日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	病院での会話①	新しい表現と言葉の意味 ・体の部位、病気の表現 ・「～くないです。」の言い方 ・病院で困ったことの発表	三上憲一	水谷大輔、金箱亜希
3	平成25年9月14日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(2人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	病院での会話②	・新しい表現と言葉の意味 ・病院の予約の仕方 ・予防接種の種類 ・問診票の書き方	三上憲一	水谷大輔、金箱亜希
4	平成25年9月21日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	防災	・新しい表現と言葉の意味 ・「～って」の言い方 ・「～んです。」の言い方 ・「～とか、～とか」 ・災害のための準備	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
5	平成25年9月28日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	家(アパート)の契約	・新しい表現と言葉の意味 ・不動産やで使う言葉 ・「～より～のほうが」の言い方 ・間取りの見方 ・「～い」の言い方	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
6	平成25年10月5日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	買い物	・新しい表現と言葉の意味 ・商品の返品交換 ・数の数え方 ・「～にくい」の言い方 ・早口言葉	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
7	平成25年10月12日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	銀行、ネット通販の 便利な使い方	・新しい表現と言葉の意味 ・反対言葉 ・口座開設申し込み ・「～でも、いいですよ。」の言い方	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
8	平成25年10月19日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	地域社会への参加とマナー	・新しい表現と言葉の意味 ・ゴミの捨て方 ・お祭りについて ・浴衣や着物について	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
9	平成25年10月26日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	公共交通機関の使い方と道案内	・新しい表現と言葉の意味 ・道案内でつかう言葉 ・お店の名前を書く	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
10	平成25年11月2日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	擬態語や擬音語	・新しい表現と言葉の意味 ・擬音語を使うとき ・擬態語を使うとき	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
11	平成25年11月9日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	TPOに適した言葉の違いと使い分け	・新しい表現と言葉の意味 ・電話での会話 ・会社の上司への会話	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
12	平成25年11月16日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	友達とのコミュニケーション	・新しい表現と言葉の意味 ・初めて会った人との会話 ・季節のあいさつ	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
13	平成25年11月23日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	各種申請書の書き方	・新しい表現と言葉の意味 ・書類の書き方 ・税金について知りたいこと	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
14	平成25年11月30日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	仕事を探す	・新しい表現と言葉の意味 ・仕事について ・履歴書の書き方 ・自分のアピール	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
15	平成25年12月7日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	面接マナーと電話の仕方	・新しい表現と言葉の意味 ・面接で使う言葉 ・面接の練習	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
16	平成25年12月14日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	日本の歌	・新しい表現と言葉の意味 ・故郷についての発表 ・好きな日本の歌について	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
17	平成25年12月21日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	5人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(1人)	日本の季節行事、日本文化について	・新しい表現と言葉の意味 ・日本の行事 ・年末年始について	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
18	平成26年1月11日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	5人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(1人)	旅行や施設の予約、問い合わせ	・新しい表現と言葉の意味 ・「～て、おきます。」の使い方 ・3分間スピーチ	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
19	平成26年1月18日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	郵便、宅配の利用方法	・新しい表現と言葉の意味 ・郵便局の利用	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
20	平成26年1月25日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	緊急事態への対処方法	・新しい表現と言葉の意味 ・自分の周りの注意書き ・自分の国の注意書き	林登志子	水谷大輔、金箱亜希

21	平成26年2月1日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	6人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	冠婚葬祭のマナー ・新しい表現と言葉の意味 ・自分の国の結婚式とお葬式	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
22	平成26年2月8日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	7人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(3人)	語彙を増やす学習 ・新しい表現と言葉の意味 ・同じ意味でもいろいろな言い方 ・体の一部を使った表現	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
23	平成26年2月15日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	5人	ペルー(3人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(1人)	表現力の向上と聞き取り練習 ・新しい表現と言葉の意味 ・こぶとりじいさんのお話について ・喜怒哀楽について	林登志子	水谷大輔、金箱亜希
24	平成26年2月22日 9:00～12:00	3時間	当社緑区事務所	5人	ペルー(2人)、 スペイン(1人)、 ブラジル(2人)	総復習 ・授業の感想 ・座談会	林登志子	水谷大輔、金箱亜希

(8) 受講者の募集方法

- ・外国人集住地区でのチラシ配布(名古屋市緑区の浦里団地、名古屋市南区の元塩団地、名古屋市港区の木場団地)
- ・あいち国際プラザ(愛知県国際交流協会)、名古屋国際センターなど広く外国人の集まる場所での受講生募集チラシの掲示と勧誘依頼、近隣自治体(長久手市、日進市、みよし市、東郷町)と国際交流協会への告知
- ・近隣の外国人向けスーパーに受講生募集チラシの掲示(ブラジル・ペルー人向け:名古屋市緑区、中国人・フィリピン人向け:名古屋市中区)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第10回「擬態語や擬音語」

普段、テレビや日本人の同僚が使っているのを聞いたことはあるが、母語では存在しない日本独特の擬態語や擬音語の意味や使い方などを学んだ。意味は分かっているもののタイミングで使えいいのか分からない言葉も多く、シーン別の使い方を練習した。早速、会社の日本人の方と話をする時に使いたいと喜ぶ姿を見ることができ、学習意欲の向上につながった。

第17回「日本の季節行事、日本文化」

日本に住んでいながらも、多くの外国人が自分の国の行事や文化で過ごしているため、日本文化に直接、触れる機会が少ない。授業では、以前から疑問に思っていた日本の習慣や行事についてたくさん質問がでた。それぞれの国でのお正月の過ごし方について質問したところ、普段発言をしない受講生も積極的に発言し、大いに盛り上がった。



(10) 目標の達成状況・成果

最後の授業終了後に受講生にヒアリングアンケートを実施した。(以下はその抜粋)

- ・一般の日本語教室は先生がボランティアの日本人の先生であることが多いが、この日本語教室は先生が日本語教師の資格を持っているので、分かりやすく、本当にためになった。
- ・ひらがなばかりではなく、漢字を含めた日本語教室があれば、もっと仕事に役立つと思った。
- ・各自の質問や日常生活で疑問に思っている日本語などを詳しく説明してくれた。
- ・漢字がたくさん学べてよかった。

テキストや講師と受講生間にギャップもなく、テキストを中心に、受講生の知りたい内容や生活に必要な知識や疑問にも答えることができる日本語教室であった。

(11) 改善点について

上記のアンケートの中には以下のような意見もあった。

- ・自分たちは遠いところから来ているが、自分たちの地域にも外国人がたくさん住んでいるので、そこでもやってほしい。
- ・第1回目を自己紹介で終わらせるのではなく、授業をやって欲しい。1回目がいつも一緒だと飽きてしまう。

- また、担当講師からは、今後の課題として以下のような意見があった。
- ・生徒のレベルが異なるためテキストだけで授業を行うのが難しかった。
- ・ひらがな、カタカナが読めない方が多かった。
- ・仕事の都合で参加できない方がいた。

今後は、日本語教室の開講時間やレベル別のクラス、テキストを用意する必要があると感じた。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

「学び、知って、使う!」生活に必要な日本語教室の開設、運営方法

(2) 目的・目標

当事業『「学び、知って、使う!」生活に必要な日本語教室』の教材を使用した日本語教室を開くことができる人材を養成

(3) 対象者

日本語教育に興味のある一般応募者(条件無し)

(4) 開催時間数(回数)4時間 (全8回)

(5) 使用した教材・リソース

- ・当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の教材
- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案
- ・「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の開設、運営方法のオリジナル教材

(6) 受講者の総数 6人

(出身・国籍別内訳 日本国 4人、ブラジル2人

)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年12月7日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	6人	日本(4人)、ブラジル(2人)	日本語教室の事業計画書の作り方	受講対象者、地域の問題、場所や会場の手配、日時、損益分岐などを学ぶ	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
2	平成25年12月14日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	5人	日本(4人)、ブラジル(1人)	日本語教室の運営について	他地域の日本語教室の取り組みと個人情報保護と各種法例、助成金について	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
3	平成26年1月11日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	5人	日本(4人)、ブラジル(1人)	カリキュラムについて	「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブックに沿って、標準的なカリキュラム案(30単位)や地域や学習者のニーズに応じたカリキュラムの構成方法などを学ぶ。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
4	平成26年1月18日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	6人	日本(4人)、ブラジル(2人)	授業ロールプレイとケーススタディ自己紹介	当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の教材の一部を使用したロールプレイとケーススタディ研修を通じ、問題点や日本語指導における難点を理解する。また、解決方法について話し合い、教材のレビューを行う。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
5	平成26年1月25日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	6人	日本(4人)、ブラジル(2人)	授業ロールプレイとケーススタディ	当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の教材の一部を使用したロールプレイとケーススタディ研修を通じ、問題点や日本語指導における難点を理解する。また、解決方法について話し合い、教材のレビューを行う。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
6	平成26年2月1日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	4人	日本(4人)	外国人ボランティアを入れた模擬授業	日本語学習者を招いての模擬授業を体験し、受講者は自分の話し方を振り返り「どのように教えるか」、更には、「学習者とのコミュニケーション」の重要性を理解する。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
7	平成26年2月8日 9:00～14:00 (内1時間休憩)	4時間	当社緑区事務所	4人	日本(4人)	日本語教室に参加	当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室に地域ボランティアとして参加する。経験豊富な日本語指導者との意見交換会を実施する。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー
8	平成26年2月15日 9:00～14:00 (内1時間休憩)	4時間	当社緑区事務所	6人	日本(4人)、ブラジル(2人)	日本語教室に参加	当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室に地域ボランティアとして参加する。経験豊富な日本語指導者との意見交換会を実施する。	水谷大輔	金箱亜希、青木スージー

(8) 受講者の募集方法

近隣の外国人支援や日本語教室を開講している団体やNPOに直接の声かけ

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

■第3回(平成26年1月11日)

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブックに沿って、標準的なカリキュラム案や地域や学習者のニーズに応じたカリキュラムの構成方法などを学んだ。

受講生からの意見としては、

- ・「標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブック」というものを初めて知った。
- ・「標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブック」を使ってテキストを作成したほうが良いとは思いますが、少ない人数やボランティアスタッフでその作業をするのは難しいので、結果的に、市販のテキストに頼ってしまう。
- ・「標準的なカリキュラム案活用のためのガイドブック」はボリュームがありすぎて、どうやって手を付ければ良いのか分からなかったが、今回の授業で少しヒントをもらえたと思う。
- ・時事ニュースなどをテキストや副教材として使用する方法は良いと思った。

といった意見が聞かれた。

既に日本語教室に参加している方でも、テキストの選定については、苦心をしている様子だったが、オリジナルのテキストを作る費用や労力を割くのは難しいと全ての受講生が感じたようだった。

■第7回(平成26年2月8日)

当事業「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室に地域ボランティアとして参加し、経験豊富な日本語指導者との意見交換会を実施した。

午後からの意見交換会では、

- ・先生の教え方はとても丁寧で親切だと思った。
- ・生徒との信頼関係ができていて、生徒の一生懸命に学ぶ姿が印象的だった。
- ・通訳のできる補助者がいることで、生徒も安心していただけたが、時折、分からないことを自分の国の言葉で聞いているようだったのが気になった。
- ・テキストではフォローしきれない話題や生活上の疑問点などが多いことに気付いたが、先生がそれに1つ1つ丁寧に答えていたのが素晴らしいと思った。

といった意見が聞かれた。

座学で学んだことを実践できる機会や自分の日本語教室以外の教室や先生の授業を見学したり、参加する機会がほとんどなかったようで、受講生の刺激になり、それぞれの課題などを見出せた。



(10) 目標の達成状況・成果

近隣で既に日本語教室を開講したり、運営に携わっている方でも、事業計画書を作成した機会がなかった。また、有料の地域の日本語教室はなく、損益分岐などの概念が全くなかった。他地域の先進的な取り組みや有償化に向けた案を出し合う授業では、非常に活発な意見が見られた。また、実際に当事業の日本語教室にボランティアとして参加してもらったが、数回では、なかなか受講生との関係性を築くことが難しく、この講座を通して、全ての回でボランティアとして携わっておくべきであったと感じた。

修了時には、皆さんが、それぞれの日本語教室において新たな知識や戦略的な考え方を生かすことができそうだと感想を述べていた。

(11) 改善点について

既に外国人支援や日本語教室を開講している経験のある方ばかりが受講生となったが、今後は、多文化共生や外国人の社会参加の促進と日本語教育を結びつける意味でも、今までこういった事業に携わった経験の無い、若年層の男女や中年層の男性を取り込んでいく必要があると感じた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の学習教材

(2) 対象

「学び、知って、使う！」生活に必要な日本語教室の受講生

(3) 目的・目標

各カリキュラムに、「課題」を設定し、座学とその学んだことを地域で実践する「タスク、宿題」を通して、受講生が生活能力の向上を実感し、学習意欲や習得度の向上につながるような教材開発

(4) 構成・総ページ数

全24回(126ページ)

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年7月6日 10:00～12:00	2時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、羽山千尋	顔合わせ、事業内容の説明、それぞれの役割分担	質疑応答とスケジュールの再確認
2	平成25年7月13日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー	参考教材や過去の当社の日本語教室のテキストレビュー、テキスト構成について	各自の作業分担、構成の検討
3	平成25年7月17日 18:00～22:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー	叩き台テキスト作成	各自の担当パートの作業内容確認、構成の検討
4	平成25年7月20日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー	叩き台テキストのレビュー	叩き台テキストの修正箇所を検討
5	平成25年7月27日 10:00～12:00	2時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、羽山千尋	叩き台テキストの修正箇所の確認	前回の会議の検討内容に従い、テキストの修正箇所について各自の分担を確認
6	平成25年8月3日 13:00～17:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー、羽山千尋(2時間のみ)	テキスト(第1回～第11回)のレビュー	各自の担当パートの作業内容確認
7	平成25年9月9日 18:00～20:00	2時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、羽山千尋	テキストの使用感想報告	受講生のレベルに合わせたテキストに修正
8	平成25年10月7日 18:00～22:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー	テキスト(第12回～第22回)のレビュー	各自の担当パートの作業内容確認
9	平成25年11月5日 18:00～20:00	2時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、羽山千尋	テキストの使用感想報告	受講生のレベルに合わせたテキストに修正
10	平成25年12月9日 18:00～22:00	4時間	当社緑区事務所	水谷大輔、金箱亜希、倉岡ジュリアナはるえ、房前ミレーナ、青木スージー、羽山千尋(2時間のみ)	テキストの使用感想報告	受講生のレベルに合わせたテキストに修正

(6) 使い方

受講生のレベルを確認し、適時、言葉の意味を補足しながら「スキット→新しい表現と言葉→応用→レビュー」を実施

(7) 具体的な活用例

スキットを使ったリーディングと語彙力の獲得。練習問題では日本語を使って自らが考えて、発表する練習。

(8) 成果物の添付

別添

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

本来、若年層から日本での教育や生活を経験しておれば、自然と身についたであろう日本特有の制度や仕組み、また、生活する上での便利なツールや方法を、生活に必要な日本語を通じて学び、生活能力の向上を目指す。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本で長く生活をしていても今まで日本語を一切、勉強したことがないという外国人も多いが、学習意欲は高い。
ただ、今までの日本語教室は体系的なものが少なく、また、座学が中心であったことがその学習意欲を持続させる疎外となっていた。
生活に密着して、覚えたことがすぐに役立つことを実感できるような授業やテキスト構成が必要であると同時に、教える側の日本人には、外国人理解や多文化共生理解についての知識やスキルも必要だと感じた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

地域にはまだまだひらがな、カタカナの読めない外国人も多い。標準的なカリキュラムではこのような外国人とレベルの比較的高い外国人への対応方法を変えることが難しい。同じテーマで、役割や内容を変えるなど、テキスト構成や活動(実践)のヒントになるようなものがあれば良いと思った。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

運営委員会には、国際交流協会や広報に携わる方、地域で日本語教育に携わる方などにも参加をしていただけた。外国人の国籍だけではなく、集住地域の特徴によって、その学習意欲や動向、目的が違うことが分かり、また、テキスト選定や学習意欲の維持方法等、課題についても情報共有ができ、今後、地域の日本語教室同士がつながる足がかりとなった。

(5) 改善点、今後の課題について

地域には日本語教室が数カ所存在するが、外国人への告知が不十分であったり、外国人の学習ニーズ(内容や時間帯等)に合わない教室も多い。また、地域の日本語教室には、無資格無償の講師も多く、学習者と指導者の双方の意欲維持の障害となっている傾向が見られる。今後は、体系的かつ実践的な日本語教育のカリキュラムだけではなく、若年層や中年層、また、これまで日本語教育や多文化共生に携わった経験の少ない人材への外国人の日本語教育の重要性を啓蒙していき、日本語教室が地域社会と外国人の接点となる必要があると感じた。

(6) その他参考資料